

つながり若者センター通信

第8号 2024年3月発行

つながり若者センター 日々の活動について

つながり若者センターでは日々、若者の話を聞かせてもらい、関係機関の皆さまと連絡を取り合っています。若者一人ひとりの困りごとや悩みごとについて、本人や関係機関の皆様と一緒に考えて、前向きに生活していけるよう活動をしています。

若者から色々な困りごとの話を聞く中で、様々な理由で仕事をしていなくて収入が無いこと、家賃が払えず住む場所を失ってしまうそうであることの話や聞くことが近頃よくありました。一緒にハローワークや不動産会社等に行ったり、仕事や住む場所を探しに行くことはありましたが、正直に言っても、なかなか決まらず時間がかかることや、決まらずに今も問題が解決していないことがほとんどです。理由は人それぞれで、まずは生きていくために必要なものを確保していくことで精一杯な状況です。

ある若者は失業していましたが一緒にハローワークに行き、就職が決まりました。今も仕事を継続しています。「もとも仕事はせなあかんと思ってたし」と話していました。

失業から仕事が決まるまで数カ月かかりました。

部屋から一歩も出られない日や、言葉かけにしても、ほとんど返事をしてもらえない日もありました。誰のおかげでもなく、本人が自ら一歩を踏み出せたおかげだと思っています。



つながり若者センター マザーボード

さらに別の若者で過去に滋賀県に住んでいたのですが、色々な理由で県外に引越して生活している方が複数名います。遠方で滋賀県から会いに行くことは困難なため、現地で支援をして頂ける関係機関の方に繋がせて頂いています。たまに本人から、つながり若者センターに連絡をくれることもありませんが、そういった場合、本人がその地域に詳しい現地の関係機関へ助けを求められるように、連携をしています。

今後に向けて

つながり若者センターマザーボードは4月より4年目を迎えます。また、令和4年度の冬にアル・プラザ彦根店内にオープンしたつながり若者センターコージータウンは、湖北地域の拠点として展開しています。地域で生きづらさを抱えて生活している若者たちにとって、より身近な存在となれるように、関係機関や、特に滋賀県の児童福祉施設等と連携を深めていきたいと考えています。

また若者たち一人ひとりとのつながりを今後も大切にして、相談しやすい関係作りに取り組みしていきたいと思えます。(九鬼)



つながり若者センター コージータウン

つながり若者センターマザーボード

つな若キッチン
つな若ダイニング

4月からマザーボードで開催してきた、若者との新しい居場所活動、つな若キッチン・つな若ダイニング。

毎月、参加してくれる若者と、その月の季節感を意識したメニューをキッチンでは話し合っけて決め、一緒に買い出し、調理し味わっています。ダイニングでは、スタッフでメニューを考えて、調理し、若者が来てくれる事を、うきうきと待っています。若者と最近の出来事を報告し合ったり、その月のメニューについての持論を交わし合ったり…12月から2月の間は、クリスマス、お正月、節分と季節感満載の毎月でした。恵方巻の日には、今年の恵方の方向を見つめて、無言で無心で食べる若者もいます。

れば、ちよっかいをかけて、それを阻止しようとする若者も…(笑)
キッチン活動では、時短料理を取り入れてみるアイデアをくれた若者がいました。ほっこり出来る今の良い居場所の時間は継続しながら、来年度も、若者と一緒にどんな活動が出来るか、スタッフみんなで考えていきたいと思えます。(松原)



子ども・若者自立支援セミナー

2月4日(日)にOcaenオカリープ(ラス)から代表の牛望美先生をお招きし、「幸せな、今と未来のお金」について研修を開催しました。

児童養護施設等の自立支援員らとの毎月の進捗会議でも、施設退所後の若者が抱える金銭的な問題は何度も話題にあがります。そこで、「お金」を学ぶことは子ども・若者がより良い生活を送るために大切と考え、福祉分野、特に社会的養護における金融教育を進めておられる牛望美先生に講義をお願いしました。

マザーボードにて行われた研修会には、施設で生活している高校生たちと施設職員さん等がご参加くださいました。講義では、「先とり貯金」、「ハウスマネー効果」、「キケンな借金」などの知識を具体的に教えていただきました。

後半のグループワークでは、職業選択のときの優先事項やお金にまつわる自分にとっての落とし穴について話し合いました。「仕事は収入が高いことが大切」、「安定してないと」、「ラクチンなのがいい」…、「お金があるとつい衝動買ってしまう」、「推し活のために働く」、「友だち付き合いで断れない」…、自分はどう考えてるだろう、そんな考え方もあるのかと、高校生たちも積極的に話し合いに参加していました。

「大人ほど人に相談する」という先生のお言葉は特に印象に残りました。若者に限らず相談することに抵抗は感じやすいけれども、自分の大切なお金、そして自分の大切な生活を守るために、自分を知り、必要な相談をできる人が「大人」ということかと思いました。(池畑)



つながり若者センターコージータウン

●相談支援

つながり若者センターコージータウンも、開所から1年余が経ちました。2本柱の相談支援・居場所活動は、関わる若者の数・来所数も増え、その推移も安定的なものとなりました。

相談支援においては、支援チームの構築を図り連携を深め、若者を地域に繋げる事を意識して、彼らが少しでも生きやすくなるような支援を目指しています。

★今年度1月までの件数（参考）

ひと月の「相談述べ件数」：80件

ひと月の「実人数（関わる若者の実人数）」：18名

電話や来所、訪問、メールやLINEで、継続的に相談対応しています。（雨森）

●居場所活動

モノづくり活動

毎月1回の「モノづくり活動会」

「つながりCOZY食堂」も兼ねます！

平日の昼間、6～8名程度の参加です。

現在はフェルトを使い、簡単な小物作りをしています。

しかし、やはり自分の好きな事を持ち込む若者もいます（もちろん、それもOKです）



夜の「つながりCOZY食堂」

月1回金曜の夜、7～8名が参加。

NPOさんに食材の廃棄を防ぎ、且つ若者が調理したオードブルを願っている事もあります。食後のボードゲームも盛り上がりです。



OEKAKI会活動

毎月1回の「OEKAKI活動会」

平日の昼間、7～8名程が参加。アルコールペンや持参の画材で、キャラクターやイラストを自由に、時には携帯を片手に描きます。

当センターに来る若者には、絵が得意、描くのが好きといった人が多いです。12月の若者イベントでは、「**展示会の開催**」も行いました。



「若者イベントの開催」

年に3回開催の「若者イベント」:

「若者イベント2023 冬 in COZY」

↑皆でカラオケ



★来月には「料理教室」も開催予定!!



→「展示会」も併せて開催

「モノづくりワークショップ」↓

「モノづくりワークショップ」↓

夏に続き、昨年12月「若者イベント2023 冬 in COZY」を開催！カラオケやアロマを使った入浴剤作り等のワークショップも開設。歌も本格的なカラオケ機器で歌え、大盛況でした。（雨森 北之防）



つながり若者センターの居場所活動について

私たちつながり若者センターでは、マザーボードとコージータウンそれぞれで居場所活動をしています。マザーボードでは、アウトリーチ型お食事作りの集いである「つながりキッチン」、想いを込めて職員がご飯を作って待つ「つながりキッチン」、コージータウンでは、簡単な編み物や好きな物などを作る「モノづくり活動」、持参の画材を使ったりして熱心に絵を描く「OEKAKAI会」、コージータウンでゆったり過ごす「夜のつながりカフェ」などです。

そこには、社会的養護を単立した若者をはじめ、家庭的にしんどさを抱えていたり、生きづらさを感じている若者が訪れてくれます。

最近、居場所のことを、サードプレイスと呼ぶことが多くなっています。これはアメリカの社会学者が「人にはサードプレイスが必要」と提唱したことによります。「ファーストプレイスは家庭、セカンドプレイスは学校や職場だそうです。でも、つながりに来てくれる若者は、「ファーストプレイスが脆弱な方が多いです。そして「セカンドプレイスがない、または失った状態の方も」。そんな彼らに、私たちは何を共有し、何をめざせばいいでしょう。

私たちは、まずありのままの自分を出せて、それをそのまま受け止められる、そんな安心できる居心地のいい場所を、彼らと一緒につむいでいきたい、そう願っています。そして、居場所仲間たちに受け入れられ認められた「自分の存在を」、「自分自身がしっかりと受け止め、大切に思えること。とても時間がかかると思います。でもそのスタートを、同じ空間で共有できたら…：自分を大事に思い、自分を信じて生きていく力、そんな力を見つけてはくんでいける。そんな時間を共に過ごせたら…：そんな大きなことを思いながら若者たちと向き合う日々です。(中島 由美)



あとがき

「親ガチャ」という言葉が市民権を得て、子どもだけでなく、しんどい状況に置かれた若者が地域で暮らしており、地域の支えが必要という認識が、浸透してきているように感じています。「自業自得」、「怠惰」、「甘やかし」といった声を、以前と比べてあまり聞かなくなったと思うのですが、皆さんはどのように感じられていますでしょうか。

私の周囲では、福祉関係者でない方からも、そのような若者に対して「何ができるかがあれば力になりたい」という声をよく耳にします。しかし続けて「でも何をしたいか分からない」という声も聞かれます。そうした声に対して、若者のニーズを適切に捉え、的確に言語化、発信していくことも私たちの大切な役割だと思っています。まだまだ試行錯誤しながらの歩みにはなりますが、来年度もどうぞよろしくお願いいたします。(遠城)

つながり若者センター
(滋賀県地域養護推進協議会)

★マザーボード

守山市守山6丁目10-68

TEL077-582-2221 Fax077-582-2330

★コージータウン

彦根市大東2-28アル・プラザ彦根店内

TEL0749-21-6370 Fax0749-21-6205

お気軽にお問合せフォームもご利用ください♪

